

















子宮頸がん治療開発マップ 2019.7.

※特殊組織型（小細胞癌など）を除く

対象	標準治療	JCOG試験	他組織の試験	主な未承認薬/適応外薬	
Stage IA	単純 or 準広汎 or 広汎 子宮全摘術 				
Stage IB1	広汎子宮全摘術  ± 術後補助療法	JCOG1101 腫瘍2cm以下に対する 準広汎子宮全摘術 2012.12→2022.8 	JCOG1402 (放射線治療グループと共同) 術後再発 高リスク群に対する IMRT-同時化学放射線療法 ¹⁾ 2017.4~ IMRT：強度変調放射線治療	JGOG1067 骨盤リンパ節陽性 術後 イリノテカン+ ネダプラチン (Phase II) 2010.1~ 2011.12	
Stage IB2	再発中リスク群 - 術後補助放射線 療法 	JCOG0102 術前化学療法 2004. 11→2005. 4 		JGOG 1082 (AFTER試験) 術後再発高リスク 群に対する 術後補助シスプラチンCCRT vs. 術後補助化学 療法(TP or TC) (Phase III) 2019.8 ~	
Stage IIA	再発高リスク群 - 同時化学放射線 療法 ¹⁾			GOTIC002 初回CCRT後 Consolidati on UFT 2010. 5~	
Stage IIB	(同時化学) 放射線療法 ¹⁾			初回(同時化学) 放射線治療時の Z-100 追加検証： 2004.9~ →2013.3	
Stage IIB (bulky)				JGOG1066 シスプラチ ン-CCRT PhaseII →2012.8	
Stage III				JACCRO GY-01 TP-CCRT Phase II 2009.12→ 2015.11	
Stage IVA					
Stage IVB	局所治療で 制御可能	局所治療で 制御不能	JCOG0505 局所治療で制御不能 TP療法 vs. TC療法 2009.11→2011.12	JCOG1311 Tri-TC±Bev vs. ddTC±Bev (Phase II/III) 2015.10~ 	局所治療で制御不能 GOG204 →TP療法 GOG240 →TP療法+ベバシズマブ
再発	手術 または (同 時化学) 放射線 療法 ¹⁾	TP療法・TC療法 等の化学療法±ベ バシズマブ* また は 緩和治療			
	標準化学療法後に増悪しマイクロサ テライト不安定性を有する ベムプロリスマブ単剤療法				

1) 同時化学放射線療法(CCRT)：化学療法(標準はシスプラチン 40 mg/m²/w 5-6回投与)と外部照射(全骨盤照射)±腔内照射の同時併用
 TC：パクリタキセル+カルボプラチン、Tri-TC：3週毎のTC、ddTC：パクリタキセル1週毎、カルボプラチン3週毎に投与するTC
 TP：パクリタキセル+シスプラチン * 2016年5月 本邦でもベバシズマブ (Bev) が子宮頸癌に適応拡大となっている

対象 (2008 FIGO分類)	標準治療	JCOG試験	他組織の試験	主な未承認薬/ 適応外薬	
Stage IA	<p>旧Stage IA 類内膜腺癌G1: 子宮体癌基本手術 オプション: 妊孕性温存療法</p>   				
Stage IB	<p>類内膜腺癌G1を除く Stage IA Stage IB-IV: 子宮体癌基本手術+後腹膜リンパ節手術+術後補助化学療法* (ドキシソルピシン+シスプラチン またはパクリタキセル+カルボプラチン)</p>	<p>JCOG1412 Stage IB-IIIC: 子宮体癌基本手術 +骨盤リンパ節郭清 vs. +傍大動脈リンパ節郭清 2016.12~</p> 	<p>GOGO-EM3 子宮体癌術後再発中・高リスク群に対する術後補助化学療法としての TC+エピルピシン vs. TC+ドキシソルピシン vs. ddTC ランダム化第II相試験 (登録終了経過観察中)</p>		
Stage II					
Stage IIIA	<p>*低リスク(類内膜腺癌G1/G2で Stage IA/IB、脈管侵襲なし) 以外の場合には術後補助化学療法</p>				
Stage IIIB	<p>手術オプション Stage IA 腹腔鏡下子宮体癌基本手術+骨盤リンパ節郭清 頸部浸潤症例では単純子宮全摘に代わり広汎または準広汎子宮全摘術。 漿液性腺癌・明細胞癌症例、腹水細胞診陽性例に対して大網切除術追加。</p>				
Stage IIIC					
Stage IVA					
Stage IVB	<p>化学療法・放射線療法 ・姑息的手術療法</p>   		<p>JGOG2046 寛解導入化学療法後に腫瘍摘出手術に関する Feasibility study (登録終了経過観察中)</p>		
再発	<p>化学療法・放射線療法・手術療法 オプション 類内膜腺癌G1またはプロゲステロン受容体陽性: 黄体ホルモン療法</p>   			<p>Keynote -775 Lenvatinib+ Pembrolizumab</p>	
	<p>MSI-H腫瘍: ペムブロリズマブ</p>				

子宮体癌基本手術: 単純子宮全摘術+両側付属器切除術
後腹膜リンパ節手術: 骨盤内・傍大動脈リンパ節の生検または郭清

TC: パクリタキセル+カルボプラチン
ddTC: パクリタキセル1週毎、カルボプラチン3週毎

卵巣がん治療開発マップ 2019.7.

対象	標準治療	JCOG試験	他組織の試験	主な未承認薬/適応外薬		
Stage IA	Stage IA-IB 明細胞腺癌を除く 分化度G1: 卵巣癌基本手術 +後腹膜リンパ節手術	JCOG1203 妊孕性温存治療 患側付属器摘出+大網部分切除 +後腹膜リンパ節手術 +腹腔内細胞診 ±対側卵巣生検±腹膜生検 +術後補助化学療法(TC療法) 2014.3.~	JGOG3020 Stage IA~IC: 術後補助 化学療法 あり vs なし 第III相試験	低異型度漿液性癌 /高分化類内膜癌 に アロマターゼ阻害 薬/リュープリン/ タモキシフェン		
Stage IB	Stage IA-IB 明細胞腺癌または 分化度G2-G3、 Stage IC-IIA:					
Stage IC	卵巣癌基本手術+後腹膜リンパ節手術 +術後補助化学療法(TC療法)					
Stage IIA						
Stage IIB	Stage IIB~IV:		GOTIC001/ JGOG3019 Stage II~IV: ddTC vs. パクリタキセル 毎週 点滴静注 + カルボプラチン 3週毎 腹腔内投与 第II/III相試験 (登録終了経過 観察中)	ベリパリブ、 ニラパリブ、 アテゾリズマブ、 低異型度漿液性癌 /高分化類内膜癌 に アロマターゼ阻害 薬/リュープリン/ タモキシフェン		
Stage IIIA	卵巣癌基本手術+ 可及的転移巣切除 +後腹膜リンパ節手術 +術後補助化学療法 (TC療法)				GINECO- PAOLA-1 Stage IIIB~: 週周期化学療法 +Bev+/-Olap 第III相試験 (登録終了経過 観察)	AGO-EHGOT BOOST試験 Stage IIIB~: TC+Bev22 コース vs. TC+Bev44 コース 第III相試験 (登録終了経過 観察)
Stage IIIB						
Stage IIIC	オプション III期以上で、 (Bev併用+維持) (ddTC療法) (BRCA変異陽性で Olap維持)	(臨床的に) Stage IIIC以上 術前化学療法も選 択可。				
Stage IVA						
Stage IVB						
プラチナ抵抗性	リポソーマルドキソルピシン*、トポテカン*、 ゲムシタピン、イリノテカン、エトポシド、 毎週投与+パクリタキセル* *オプションでBev併用		JGOG3023 単剤化学療法±Bev ランダム化第II相試験(登録終了経過観察)	セディラニブ、 アテゾリズマブ		
プラチナ感受性	TC*、ゲムシタピン+カルボプラチン*、 リポソーマルドキソルピシン+カルボプラチン *オプションでBev併用。Olap維持も可。		ENGOT-OV38 OReO試験、PARP投与後再発Olap vs. Placebo ランダム化第II相試験	セディラニブ、 アテゾリズマブ、 ニラパリブ		

卵巣癌基本手術：単純子宮全摘術+両側付属器切除術+大網切除術
後腹膜リンパ節手術：骨盤内・傍大動脈リンパ節の生検または郭清

TC：パクリタキセル+カルボプラチン、Bev：ベバシズマブ、Olap：オラパリブ
ddTC：パクリタキセル1週毎、カルボプラチン3週毎